

大阪成蹊大学 芸術学部の川上 須賀代准教授が 竹野内豊×山田孝之 W主演の映画「唄う六人の女」の 衣装制作を担当（10/27公開）

大阪成蹊大学（大阪市東淀川区/学長 中村 佳正）芸術学部 造形芸術学科 ファッション・コスチュームデザインコースの川上 須賀代准教授が、2023年10月27日公開の映画「唄う六人の女」の衣装デザイン・制作（洋装）を担当しました。川上准教授はこれまで劇団四季をはじめ、本年度は星野リゾート「星のや京都」の特別滞在着・通年使用の新滞在着のデザイン・制作を担当。数々の演劇舞台やコンサート衣装等を手がけています。

本件のポイント

- ✓ 今回の衣装制作では「**機能性とデザインの融合**」にこだわって制作
- ✓ 実際に制作した衣装が10月27日（金）より**大阪ステーションシティシネマで特別展示**

【作品概要】

竹野内豊と山田孝之がW主演を務めるサスペンススリラー。事故をきっかけに深い森の中で6人の女性たちに囚われた、正反対のふたりの男性を描く。『オー！マイキー』など、数多くの映像作品を手がけた石橋義正が監督を務める。共演は水川あさみ、アオイヤマダ、服部樹咲、萩原みのり、桃果、武田玲奈、竹中直人ら。主題歌はNAQT VANEの“NIGHTINGALE”。

■ 公開日：2023年10月27日（金）

【川上准教授が携わった衣装について】

■ 制作物

衣装デザイン・制作（洋装）を担当

■ 川上准教授のコメント

監督から映画のあらすじをお聞きし、担当しました洋装衣装は、デザインのすり合わせと同時進行で素材作りを始めました。例えば、予告編でも流れている水の中のシーンの衣装に関しては、何種類もの素材違いの生地を用意し、キャラクターに合う色味に何度も色を重ねて染色。桶に水を溜めて生地が水を含んだ時の重量を計り、水中での生地のなびきを確認。これは俳優が衣装を身に纏った際に、水中での負担を軽減すること、パフォーマンスを発揮できる様にするためでもあります。

【特別展示について】

この度、川上准教授が制作し、実際に映画で使用されている洋装が「大阪ステーションシティシネマ」にて特別展示されることとなりました。

■ 劇場：大阪ステーションシティシネマ（大阪府大阪市北区梅田3-1-3 ノースゲートビル11F）

■ 展示期間：2023年10月27日（金）～11月16日（木）

【大阪成蹊大学 芸術学部について】

大阪成蹊大学 芸術学部は、最前線で活躍するトップクリエイターと共にリアルな現場での制作活動を通し、「進化を続ける芸術力で社会をリードするクリエイター」を育成しています。



▲映画ポスター

< 取材申し込み・お問い合わせ先 >

大阪成蹊大学 広報統括本部 担当：長坂・草野

大阪市東淀川区相川3丁目10番62号 TEL:06-6829-2606 Mail: kouhou@osaka-seikei.ac.jp